

北区
紫野学区版

保存版
令和3年
5月発行

京都市
土砂災害
ハザードマップ

あなた、家族、地域の命を土砂災害から守るためのポイント

ポイントを確認し、
具体的な避難を
考えましょう

ポイント2
情報にしがいい適切に避難

京都市
CITY OF KYOTO

あなた、家族、地域の命を土砂災害から守るためのポイント

ポイント1
原則は 早い段階で安全な場所へ
逃げ遅れたら その場そのときで最も安全な場所へ

ポイント2
情報にしがいい適切に避難

京都市
CITY OF KYOTO

ポイント2
情報にしがいい適切に避難

土砂災害や洪水災害などの危険性が高まった地域には、避難情報が発令されますので、その地域にいる方は、早めに避難しましょう。しかし、局地的な雨の場合には、避難情報が出ない場合があります。避難情報が無くても、いつもと違うと感じたら避難しましょう。

（警戒レベル3）※
高齢者等避難

危険な場所から高齢者等は避難！
（避難に時間のかかる方とその支援者も含まれます。）

（警戒レベル4）
避難指示

危険な場所から全員避難！

災害のおそれあり

災害のおそれ高い

※高齢者等以外の人も、必要に応じ、普段の行動を見合わせたり、自主的に避難しましょう。

雨が降り始める

急激な雨

地域で共有

いつもと違う
大雨や台風が迫っている

いつもと違う
多くの雨が降っている

避難支援

いつもと違う
川が増水している

前兆現象

みんなで協力して避難

指定緊急避難場所

土石流が発生

2階に避難

がけ崩れが発生

発災

発災後

避難情報・気象情報の伝わりかた

国・京都府
京都
地方気象台

電話
FAX

京都市災害対策本部

避難情報伝達システム
電話
FAX

区・支所
災害対策本部

消防・警察

報道機関

テレビ・ラジオ

緊急速報メール

インターネット

防火・防犯
情報メール

自主防災会

住民のみなさん
避難行動要支援者
（高齢者や障害がある方等）

ポイント1
原則は 早い段階で安全な場所へ
逃げ遅れたら その場そのときで最も安全な場所へ

早い段階で安全な場所へ避難することが大原則ですが、逃げ遅れてしまった場合には、その場そのときの状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。

原則 / 早い段階で安全な場所へ

早い段階で安全な場所に避難することが大原則です。

早い段階ってどんなとき？

例えば…

事前に大型の台風や大雨が予想される場合

避難情報を聞いた場合

夜中に雨が降り続く予想される場合

前兆現象などいつもと違うと感じた場合

急激な天候の変化など、早い段階で避難できない場合もあります。逃げ遅れてしまったときのことと考えておきましょう。

逃げ遅れたら / その場そのときで最も安全な場所へ

逃げ遅れてしまったら、その場そのときの状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。

逃げ遅れたときってどんなとき？

例えば…

避難経路が浸水しているおそれがある場合

急激な大雨により、土砂が急に迫ってきた場合

最寄りの指定緊急避難場所や警戒区域外へ避難するのが危険と感じた場合

注意

●浸水の中を避難するのはとても危険です。

アンダーパス

マンホール

地下

注意

土砂災害や水害の危険が近づいているときには、様々な情報が発信され、周りではいつもと違う状況が起こります。しかし、これらの情報等をただ待つだけでは、いつのまにか状況が悪くなり、避難のタイミングを逃してしまっておそれがあります。災害が発生しそうなときには、みずから情報や周りの状況に注意するよう心がけましょう。

（警戒レベル3）※
高齢者等避難

危険な場所から高齢者等は避難！
（避難に時間のかかる方とその支援者も含まれます。）

（警戒レベル4）
避難指示

危険な場所から全員避難！

災害のおそれあり

災害のおそれ高い

※高齢者等以外の人も、必要に応じ、普段の行動を見合わせたり、自主的に避難しましょう。

雨が降り始める

急激な雨

地域で共有

いつもと違う
大雨や台風が迫っている

いつもと違う
多くの雨が降っている

避難支援

いつもと違う
川が増水している

前兆現象

みんなで協力して避難

指定緊急避難場所

土石流が発生

2階に避難

がけ崩れが発生

発災

発災後

情報の受け取りかた、調べかた

情報の受け取りかた

インターネットで調べる

テレビで調べる

ラジオで調べる

我が家の防災行動計画「マイ・タイムライン」を作成しましょう！

○住んでいる場所や家族構成によって、災害時に取るべき行動やタイミングは異なります。普段から防災意識を高め、適切な避難行動を知るため、家族や地域で相談しながら、防災行動計画「マイ・タイムライン」を作成しましょう。

○ウェブサイト（京都市防災ポータルサイト）で作成できます。また、区役所・支所、消防署でリーフレットも配布しています。

京都市防災ポータルサイト マイ・タイムライン 検索

どんなところに逃げればいいのか？

例えば…

○お住まいの学区の指定緊急避難場所

○土砂災害と水害の危険性の低い地域の親戚、友人宅など安全な場所

※指定緊急避難場所に避難するときには、まず、開設を確認しましょう。

確認方法 [1] メール、インターネットなどで確認。 [2] テレビのデータ放送（㊦ボタン）で確認。 [3] [1]と[2]で確認できない場合は 北区役所（075-432-1199）へ電話。

どんなところに逃げればいいのか？

例えば…

○指定緊急避難場所に限らず、最寄りの高く頑丈な建物

○自宅の2階以上で斜面から離れた部屋

●土砂災害から避難するときにはこんなことに気をつけましょう。

増水

斜面

危険

気象情報

いつもと違う
大雨や台風が迫っている

●土砂災害警戒情報

●土砂災害危険度情報

●注意報・警報・特別警報

いつもと違う
周囲に異変がみられる

前兆現象

土砂災害が発生する前には、前兆現象が確認されることがあります。次のような現象を発見したら、ただちに区役所等に通報したり、避難を開始したりしましょう。

がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

地すべり

土石流

周辺の雨

わたしの早い段階の避難先は？

雨・風が強くなる前、暗くなる前の早い段階で、安全な場所に避難することが大原則です。

マップで確認して記入しましょう。

○お住まいの学区の指定緊急避難場所

○○小学校

土砂災害と洪水災害の危険性の低い地域の親戚、友人宅など安全な場所 記入欄

わたしの逃げ遅れたときの避難先は？

逃げ遅れてしまったら、その場そのときの状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。

マップで確認して記入しましょう。

最寄りの高く頑丈な建物、自宅の2階以上で斜面から離れた部屋 記入欄

マップで確認して記入しましょう。

発行 京都市 | 京都市印刷局 34129号
問い合わせ先 京都市行財政局防災危機管理室
TEL：075(222)3210 FAX：075(212)6790

地域の避難ルール

指定緊急避難場所が最寄りに無い場合は、地域で話し合い、安全が確保できる建物などを決めておきましょう。また、周囲に異変を感じたら地域で情報を共有できるよう、ルールを決めておきましょう。

○地域で避難ルールを決めておく

1.マップの「避難の際の危険箇所」などを参考に、周囲の異変を確認する場所や安全が確保できる建物を地域で取りまとめる

2.周囲の異変をどのように地域で共有するのかを決める

3.周囲の異変の確認や避難ルールに基づき訓練する

非常持ち出し品リスト

非常持ち出し袋（リュックサックなど）に入れておくもの

○非常食

○非常飲料

○非常救急セット、常備薬（処方箋）

○非常携帯ラジオ

○非常懐中電灯

○非常乾電池・充電器類

○貴重品

○現金（公衆電話用に10円玉）

○通帳・印鑑・健康保険証・運転免許証など

○マスク

○手指消毒用アルコール

○ウェットティッシュ

○体温計

○ティッシュペーパー

○タオル・ハンカチ

○軍手・厚手のゴム手袋

○筆記用具（油性ペン）

○防寒具・雨具

あとと便利なもの

○着替え

○卓上コンロ・携帯ガスボンベ

○使い捨てカイロ

○ビニール袋・ゴミ袋

○ヘルメット

○防水ビニールシート

○布粘着テープ

○ナイフ・はさみ・ドライバー

○ローソク・マッチ・ライター

○京都市土砂災害ハザードマップ

家族構成によって必要なもの

乳幼児

離乳食、粉ミルク、ほ乳瓶、おむつ、おしりふきなど

高齢者

入れ歯、介護食、看護用品、大人用おむつなど

非常持ち出し品を事前に用意しておきましょう。

防災に関する相談

地域で異変を感じたら（前兆現象を発見したら）
北区役所地域力推進室 075(432)1199 へ電話

防災に関すること

消防に関すること

危険宅地の防災

生活相談に関すること

緊急通報先

火事・救急・救助 119

警察・事件・緊急 110

ライフライン